結成20周年
新たな大躍進に向け出発！

動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話（鉄電）千葉 2935・2939番
（公）043（222）7207番
2000.2.23 No. 5091

国鉄決戦勝利 組織拡大春闘を！

労働運動の再生へ

動労千葉第四二回定期委員会が、二月一九日、千葉県労働者福祉センターにおいて開催され、この二〇〇〇年春闘を、「国鉄闘争の勝利と労働運動の再生をめざす組織拡大春闘として位置付け、国家的大リストラ攻撃や日経連の賃下げ攻撃と対決し、JR貨物の賃金抑制攻撃粉砕ー大幅賃上げ獲得をめざして闘い抜くことが決定された。

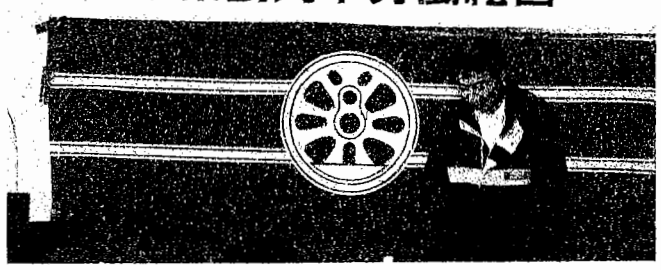
第42回定期委員会ー闘う方針を確立
二月一九日千葉県労働者福祉センター
新会館建設を跳躍台に！
反転攻勢の闘いに起とう

定期委員会は、君塚副委員長の開会あいさつで始まり、議長に千葉運転区支部より、山口委員を選出したあと、冒頭あいさつに起った布施副委員長は、「昨年一一月初旬の定期大会以降、自自公・小渕体制の反動攻撃が強まっている中で闘ってきた。日本労働運動がこの反動攻撃に立ち向かっていない中で、二〇〇〇年春闘を組織拡大の闘いとして取り組もうとしている。今委員会はその意味から言っても重要だ。昨年一一月に出されたILOの中間勧告は、国家的不当労働行為とその司法による承認を、国際条約違反として強く弾劾した。しかしながら国労中央など運輸省のゼロ回答に屈伏していく和解へ向けた動きがあることも事実だ。この攻撃との闘いをいかに進めていくのか。国鉄労働運動ー日本労働運動を左右していく焦点の闘いであり、清算事業団闘争ー解雇撤回闘争を原点に戻って進めていく。二〇〇〇年春闘は、労働運動の側が闘う姿勢さえない状況であり、資本の側は昨年のベアゼロから今年は賃下げとエスカレートしている。この壁をどう突破していくのか。国鉄闘争と結合させた闘いの節としなければならない。第二の分割・民営化攻撃がさらに悪辣なものとして襲いかかってきている。一〇四七名の採用差別問題、貨物への格差問題、シニア制度など高齢者問題と、すべて国鉄改革法という同じ根っこから来ている。しかしながらこうした状況を跳ね返せる絶好のチャンスが到来している。東労組の内部はガタガタになっている。JR総連解体ー組織拡大を図っていく闘いを進めよう。新会館建設を跳躍台として闘う労働運動の新しい潮流の形成に向け奮闘しよう」と訴えた。

続いて、来賓として水野勝浦市議会議員、株式会社SL・山口代表取締役よりあいさつを受けた。

経過報告ー暫定予算等の提起を受けたあと質疑に入り ——

第42回定期委員会
国鉄千葉動力車労働組合



☆主な質疑要約

◎貨物の三月ダイ改での小名木川駅縮小、一二月京葉線への輸送ルート移行に伴い、新小岩派出の位置づけはどうなるのか。

◎貨物会社では平均年令が高いということもあり、この二～三年で多数の退職者が発生する。要員補充、六五才まで働ける労働条件を追及すべきだ。

◎気動車の転換要請について、今年も想定されるのか？

◎DLレール輸送の労働条件整備について

◎東労組による「平和共存打破」などということが職場で発生し、内部矛盾を深めている。組織拡大のチャンスだ。

◎団体交渉員の勤務扱い等、労働組合活動に関する権利の獲得について

以上のような質疑応答を経て、闘う方針が全体化された。

新たな団結の砦、新会館建設を契機に二〇〇〇年さらなる跳躍をかけて、大失業と戦争の時代を撃つ闘いを創造しよう。

二〇〇〇年春闘を組織拡大春闘として勝利しよう。

家族会第12回定期総会にあつまろう！

●3月12日（日）13時
●本部仮事務所